

# 2021 熊日「新聞コンクール」

## 親子新聞の部

### 作品募集

親子・家族で話し合い、  
家庭のニュースや話題、  
社会の出来事、将来の夢  
などを盛り込んで、  
自由に編集してください。



#### 募集要項

**応募資格** 熊本県内在住の小学生、中学生およびその親子・家族  
応募は学校単位、個人応募とも受け付ける

**部 門** ▽手書き部門 ▽パソコン部門  
※部門を出品票に明記すること

**応募規定** サイズ：A3用紙1ページ（サイズ厳守）。紙質に制限は設けませんが、厚紙は不可。

内 容：学校の先生や友達などに向け、親子・家族で話し合い、家庭内のニュースや話題、社会の出来事、将来の夢などを盛り込み、自由に編集したもの。

体 裁：タイトル（題字）を入れる。用紙の縦横、記事や見出しの縦書き横書きは自由。イラスト、写真なども自由に使い、貼り付けてもよい。広告欄（ただし内容は架空のものに限る）を設けてもよい。また、白黒、カラーのいずれでもよい。

作 成：両部門とも親子・家族で話し合い、小・中学生が作成する。パソコン部門はA3用紙に印刷したもの（データでの応募は不可）。その他：所定の出品票または白紙に、住所・氏名（児童・生徒）・電話番号・学校名・学年・新聞名及び保護者名を記入し、作品の右下に貼付する。作品は未発表のものに限り、返却しない。出品票は熊本日日新聞社事務局で配布します。熊日電子版からもダウンロードできます。入賞作品はポスター、チラシ、作品集などの印刷物に使用することがあります。

**締め切り** 2021年9月15日（水）熊日事務局に必着  
**応募先** 〒860-8506、熊本市中央区世安町172、

熊本日日新聞社事務局、  
2021熊日「新聞コンクール」親子新聞の部係  
☎096（361）3383

熊本日日新聞社の県内支社、総・支局（菊池・南関・芦北・牛深・山都・宇土・合志を除く）、販売センターでも受け付けます。

**発 表** 9月下旬～10月初旬に熊日紙上で発表予定。  
**表 彰** グランプリ、金賞、銀賞、銅賞、入選、学校賞を予定  
**表彰式** 11月予定

**展覧会** ▽入賞・入選作品…鶴屋百貨店 11月  
▽入賞作品…くまもと森都心プラザ 2022年1月  
(いずれも予定)



※応募者には熊本日日新聞社や関連グループから連絡をすることがあります。あらかじめご了承ください。

※新型コロナウイルスの感染状況により表彰式、展覧会の日程は変更になる可能性があります。

主 催 熊本日日新聞社

後 援 熊本県教育委員会 熊本市教育委員会 熊本県市町村教育委員会連絡協議会  
熊本県PTA連合会 熊本市PTA協議会 NIEネットワーク熊本



2021 熊日「新聞コンクール」親子新聞の部 出品票 (手書き・パソコン) 部門

ふりがな	ふりがな	小学校	年
氏名	学校名	中学校	
住所	〒□□□□-□□□□	電話	( ) -
ふりがな	ふりがな	保護者名	
新聞名			

✂ キリトリ

令和2年(2020)夏 最終号 熊本市立黒髪小6年(8月) 16日

# 夏休みぎらぎら新聞

## New brother

### 大切なれ rei

今年、日本国内で新型コロナウイルスの感染者が増え続けている。学校の授業がなくなり、小学校の活動も自粛になりました。我が家に4月28日、我が家に家族が増えました。ミニチュアダックスフンドの歴史

中世の頃に作出されたトイプードルやパピヨン、フレンチブルドッグなどは、原産国のドイツやフランス、イタリアなどに由来しています。ぼくは、ミニチュアダックスフンドを飼っています。ぼくは、ミニチュアダックスフンドを飼っています。ぼくは、ミニチュアダックスフンドを飼っています。

昭和16年の真珠湾攻撃から始まった太平洋戦争が終戦後、75年目を迎える。今、日本は平和を築き、発展を遂げている。令和2年7月豪雨

今年7月4日、熊本県の球磨川流域で線状降水帯による観測史上最大の35.4mmの大雨が降りました。2人が行方不明、現在も多くの人が避難生活を送っています。令和2年7月豪雨

村上選手初の月間MVP

村上選手は、打率.376の本塁打.37打点で初年度のMVP受賞。凄い!!

安倍首相辞意

8月28日、安倍首相は、清湯性大腸炎の持病のため、辞意を表明しました。大祖父の佐藤栄作を抜き、歴代最長でした。お疲れ様でした。

願 コロナ終息

今年、小学生最後の新聞です。兄弟も書いていたので、1年生から書きました。新聞作りは、とても大変ですが、家族のおかげで楽しくできました。

わが家の空物

5年生 4年生 3年生 2年生 1年生

前回 グランプリ 作品 2020

前回グランプリ 米澤宗介さん(熊本市立黒髪小6年・当時)

「夏休みぎらぎら新聞」

新聞づくりは、身近な課題を発見し、文章や図表・写真などによる表現活動を通して他者とのコミュニケーションを図り、またその能力を高めていくという「生きる力」につながる実践活動です。2021熊日「新聞コンクール」親子新聞の部は夏休み期間に、子どもたちが家族と協力し合い、表現する力を養っていくことを目的としています。